

スズキ、小型乗用車 新型「ソリオ」、「ソリオ バンディット」を発売



ソリオ HYBRID MZ



ソリオ バンディット HYBRID MV

スズキ株式会社は、小型乗用車「ソリオ」、「ソリオ バンディット」を全面改良し、8月26日より発売する。

「ソリオ」、「ソリオ バンディット」は、街中での取り回しに優れたコンパクトなボディーに、広い室内空間を備えたパッケージングをはじめ、使い勝手の良い後席両側スライドドアや優れた燃費性能などを特長とするコンパクトハイトワゴンである。

今回の全面改良では、軽量で高剛性の新開発プラットフォームを小型乗用車に初めて採用。コンパクトなボディーサイズはそのままに、室内空間を大幅に拡大した。さらに、燃費を向上させながら低回転域でのトルクを高めた新開発のK12C型デュアルジェット エンジンとマイルドハイブリッドの搭載^{※1}に加え、徹底した軽量化の取り組みにより 100kg^{※2}の軽量化を達成し、クラストップ^{※3}の低燃費 27.8km/L^{※4}と力強い走りを両立した。

乗降性を高めた後席両側スライドドアや利便性が向上したリヤシートをはじめ、広い荷室と豊富な収納スペース、全方位モニター付メモリーナビゲーションの設定^{※5}など、使い勝手や快適性を向上させた。デュアルカメラブレーキサポートをはじめとする先進の安全技術を搭載^{※6}して安全装備を充実させるなど、「取り回しやすさと広さ」、「燃費性能と走り」、「使い勝手と快適性」、「安全性能」を追求し、さらに進化したコンパクトハイトワゴンとした。

●新型「ソリオ」、「ソリオ バンディット」の主な特長

- ①コンパクトなボディーサイズに、さらに広くなった室内空間
- ②クラストップ^{※3}の低燃費 27.8 km/L^{※4}と力強い走りを両立
- ③存在感あるエクステリアと広さを追求したインテリア
- ④さらに向上した使い勝手・快適性
- ⑤先進安全技術の搭載

●販売目標台数(月間) 「ソリオ」、「ソリオ バンディット」 合計 3,500台

※1 マイルドハイブリッド搭載はGを除く。

※2 新型ソリオ HYBRID MX 2WD車と先代ソリオ X-DJE 2WD車の比較。

※3 クラス=コンパクトハイトワゴン (総排気量1.5L以下・全高1,550mm以上の2列座席5ドアワゴン)。2015年8月現在、スズキ調べ。

※4 燃料消費率J C08モード走行 (国土交通省審査値) : HYBRID MX・HYBRID MZ・バンディット HYBRID MVの2WD車。

※5 全方位モニターはメモリーナビゲーションとセットでメーカーオプション設定。(Gを除く)

※6 デュアルカメラブレーキサポート・誤発進抑制機能・車線逸脱警報機能・ふらつき警報機能・先行車発進お知らせ機能は、エマージェンシーストップシグナル、クルーズコントロールシステムとセットでメーカーオプション設定。(Gを除く)

●メーカー希望小売価格(消費税8%込み)

機種名	エンジン	駆動	変速機	燃料消費率 JC08モード走行 (km/L)	エコカー減税 (取得税/重量税)	価格(円)	
ソリオ							
G	1.2L DOHC 吸排気VVT	2WD	CVT	24.8	60%/50%	1,454,760	
		4WD		22.0	20%/25%	1,581,120	
HYBRID MX	1.2L DOHC 吸排気VVT (マイルドハイブリッド)	2WD		27.8	80%/75%	1,695,600	
		4WD		23.8	60%/50%	1,821,960	
HYBRID MZ		2WD		27.8	80%/75%	1,841,400	
		4WD		23.8	60%/50%	1,967,760	
ソリオ バンディット							
HYBRID MV		1.2L DOHC 吸排気VVT (マイルドハイブリッド)	2WD	CVT	27.8	80%/75%	1,825,200
	4WD		23.8		60%/50%	1,951,560	

- * 2WDは前輪駆動。
- * 価格には、リサイクル料金、保険料、税金(除く消費税)、登録等に伴う費用は含まれない。
- * 環境対応車普及促進税制による自動車取得税の減税措置は平成29年3月31日新車登録、自動車重量税の減税措置は平成29年4月30日新車登録まで。
- * デュアルカメラブレーキサポート装着車[デュアルカメラブレーキサポート、誤発進抑制機能、車線逸脱警報機能、ふらつき警報機能、先行車発進お知らせ機能、エマージェンシーストップシグナル、クルーズコントロールシステム]は、59,400円高。(Gを除く)
- * 全方位モニター付メモリーナビゲーション装着車[メモリーナビゲーション(フルセグTV・DVD/CDプレーヤー・AM/FMラジオ付、Bluetooth®対応)、TV用ガラスアンテナ、ハンズフリーマイク、外部端子(USB、AUX)、全方位モニター]は、127,440円高。(HYBRID MZ、バンディット HYBRID MV) *Bluetoothは米国Bluetooth SIG,INC.の登録商標。
- * 全方位モニター付メモリーナビゲーション装着車[メモリーナビゲーション(フルセグTV・DVD/CDプレーヤー・AM/FMラジオ付、Bluetooth®対応)、TV用ガラスアンテナ、ハンズフリーマイク、外部端子(USB、AUX)、全方位モニター、ステアリングオーディオスイッチ]は、129,600円高。(HYBRID MX)
- * 後席右側ワンアクションパワースライドドア装着車は、46,440円高。(バンディット HYBRID MV)
- * ピュアホワイトパール塗装車は、21,600円高。
- * プレミアムシルバーメタリック、ミッドナイトバイオレットメタリック塗装車は、21,600円高。(バンディット HYBRID MV)
- * ブラック2トーンルーフ仕様車は、43,200円高。(バンディット HYBRID MV)

新型「ソリオ」、「ソリオ バンディット」の主な特長

● コンパクトなボディーサイズに、さらに広くなった室内空間

- ・新開発プラットフォームの採用により、コンパクトなボディーサイズながら、クラストップ^{※3}の室内長2,515mmとゆとりある前後乗員間距離1,080mmを実現。室内高も1,360mmとした。
- ・2,480mmのロングホイールベースながら最小回転半径を4.8mとし、さらに取り回しやすくした。
- ・インストルメントパネルの張り出しを抑えるなどレイアウトの効率化を図り、居住性と開放感を高めた。
- ・前席と後席間の移動が可能なセンターウォークスルーを採用。

● クラストップ^{※3}の低燃費27.8km/L^{※4}と力強い走りを両立

- ・新開発プラットフォームに、新開発のK12C型デュアルジェットエンジンと、加速時にモーターでエンジンをアシストするマイルドハイブリッドを搭載^{※1}。
- ・車両全般にわたり徹底した軽量化を図り、従来モデル比で100kg^{※2}の軽量化を達成。
- ・クラストップ^{※3}の低燃費27.8km/L^{※4}と力強い走りを実現。さらに全車をエコカー減税に対応させた。

軽量で高剛性の新開発プラットフォーム

- ・小型乗用車用の新開発プラットフォームを新型ソリオに初採用。今後、この新開発プラットフォームを国内及び海外のAセグメント車に展開する。
- ・主要構造や部品のレイアウトを全面刷新し、剛性や静粛性、衝突性能、走行性能などを大幅に向上させたうえで、軽量化を達成。

安定感のある乗り心地を実現する新サスペンション

- ・新開発プラットフォームにあわせてサスペンションを新設計。
- ・サスペンションフレームをフラットな構造とし、車体骨格の一部とすることで軽量化と高い剛性を両立。
- ・フロントおよびリヤのサスペンションストロークを拡大し、乗り心地を向上。
- ・リヤにトーションビーム式サスペンションを新たに採用し軽量化に貢献。(2WD車)

新開発K12C型デュアルジェット エンジン

- ・高圧縮比化で熱効率をさらに向上させた新開発K12C型デュアルジェット エンジンを搭載。
- ・燃焼改善技術により圧縮比を 12.0 から 12.5 まで上げて熱効率を高めるとともに、冷却効果向上や混合気最適化などによりノッキングを抑制。
- ・低回転域でのトルクの向上に加え、フリクション低減、エンジンの軽量およびコンパクト化により高い次元で優れた燃費と力強い走りを両立。

加速時にモーターでエンジンをアシストするマイルドハイブリッド

- ・出力を向上させた I S G (モーター機能付発電機) と専用リチウムイオンバッテリーを組み合わせた独自のマイルドハイブリッドを搭載^{*1}。
- ・減速時のエネルギー回生やアイドリングストップ後のエンジン再始動を I S G が行い、無駄な燃料消費を抑制。さらに最長 30 秒間のモーターアシストによってエンジンの負担を軽減し、さらなる燃費向上を実現。*ISG=Integrated Starter Generator (インテグレートッド スターター ジェネレーター)

従来モデル比で100kg^{*2}の軽量化を実現

- ・軽量、高剛性の新開発プラットフォームの採用をはじめ、ボディーやエンジン、足まわりに行きわたるまで軽量化を徹底し、従来モデル比で 100 k g^{*2}の軽量化を達成。
- ・ボディーの約 51% (重量比) に高張力鋼板を採用し、軽量化と剛性を確保。

●存在感あるエクステリアと広さを追求したインテリア

エクステリアデザイン

<ソリオ:幅広い層に親しまれるスタイリング>

- ・ヘッドランプから連続性を持たせたメッキフロントグリル。
- ・サイドからリヤにかけての立体感を強調するボディー断面。
- ・車体色は、新色の「ピュアホワイトパール」や「クォーツピンクメタリック」などをはじめ全8色を設定。

<ソリオ バンディット:圧倒的な迫力でアグレッシブなスタイリング>

- ・個性的な表情をつくる2段構えのLEDヘッドランプ。
- ・ワイド感を強調したエアロ形状のリヤバンパー。
- ・車体色は、新色の「ファーベントレッド」や「ミッドナイトバイオレットメタリック」などをはじめとする7色に加え、ブラック2トーンルーフを設定するなど、全9バリエーションを用意。

インテリアデザイン

<ソリオとソリオ バンディット共通>

- ・開放感を演出する、シンメトリーデザインのセンターメーター。
- ・横への広がりとお質さを表現する、インパネ全幅にわたるアッパーオーナメント。

<ソリオ:居心地の良い空間を表現したインテリア>

- ・シルバーの加飾を施したセンターガーニッシュ (HYBRID MX、HYBRID MZ)。
- ・チャコールグレーを基調としたシート表皮。

<ソリオ バンディット:上質感あふれる空間を表現したインテリア>

- ・ピアノブラック調のセンターガーニッシュ。
- ・ダークパープルのアクセントを施した黒基調のシート表皮。

● さらに向上した使い勝手・快適性

乗降性がさらに向上した後席両側スライドドア

- ・後席ドア開口幅を60mm広げ、さらにステップ高を低くすることで乗り降りをさらにスムーズにした。
- ・スイッチを一度押すだけで解錠と自動開閉が可能な、ワンアクションパワースライドドアを採用。パワースライドドア作動中に開閉操作をすると、任意の位置で扉を止めることができる一時停止機能をあわせて採用。

*ワンアクションパワースライドドア:左側は全車標準装備。右側はHYBRID MZに標準装備、バンディットHYBRID MVにメーカーオプション設定。

利便性を高めたリヤシート

- ・リヤシート背もたれの肩部に操作レバーを設け、荷室側からもリヤシートのスライド操作を可能とした。さらにアームレストも採用。(Gを除く)
- ・リヤシート後傾角を拡大したリクライニング。

広い荷室スペースと豊富な収納スペース

- ・バックドア開口地上高を下げ、荷物の積み下ろしを容易にした。さらに荷室高と荷室幅を広げ、荷室スペースを拡大。
- ・2WD車は容量100L、4WD車は容量26Lの大容量のサブトランクを設置。
- ・インパネアッパーボックス(運転席)や500ml紙パックに対応したインパネドリンクホルダー、大容量のインパネトレイ(助手席)など、豊富な収納スペースを設定。

充実した快適装備

- ・全方位モニター付メモリーナビゲーションをメーカーオプション設定。(Gを除く)
- ・「ナノイー」搭載フルオートエアコンを採用。(HYBRID MZ、バンディットHYBRID MV)
*「ナノイー」はパナソニック(株)の商標。
- ・プレミアムUV&IRカットガラス(フロントドア)とIRカット機能付フロントガラスを採用。(HYBRID MZ、バンディットHYBRID MV)
- ・リヤドアトリムに引出し式のロールサンシェードを採用。(Gを除く)
- ・運転席シートヒーターを標準装備。*4WD車は助手席シートヒーターも標準装備。
- ・約45km/h~100km/hで設定可能なクルーズコントロールシステムをメーカーオプション設定。(Gを除く)

● 先進安全技術の搭載

- ・ステレオカメラ方式の衝突被害軽減システムであるデュアルカメラブレーキサポートをはじめ、誤発進抑制機能、車線逸脱警報機能、ふらつき警報機能、先行車発進お知らせ機能、エマージェンシーストップシグナル、クルーズコントロールシステムをセットでメーカーオプション設定。(Gを除く)
- ・衝突時の衝撃を効率よく吸収・分散する、[TECT]を採用。新開発プラットフォームにより、優れた衝撃吸収性を発揮。
- ・脚部保護に配慮したフロントバンパーなど、歩行者傷害軽減ボディを採用。
- ・運転席および助手席にシートベルトリマインダーを装備。(Gは運転席のみ)